

# 日本の水泳界を支える 学校教育の立場から

平成21年11月14日

2009年日本水泳・水中運動学会

教育の一番札所



国立大学法人

鳴門教育大学

松井 敦典



# Contents

- 学校水泳の成立・果たしてきた役割
- プール設置率と溺死率の変遷
- 学校水泳の現状と問題点
- これからの水泳教育

# 学校水泳のはじまり

# 嘉納治五郎 (1860-1938)



- 講道館柔道の創始者
- 日本人初のIOC委員
- 大日本体育協会初代会長
- 東京高等師範校長

游泳実習を課す

指導者派遣

指導者講習

# 嘉納治五郎 (1860-1938)



- 講道館柔道の創始者
  - 日本人初のIOC委員
  - 大日本体育協会初代会長
  - 東京高等師範校長
- 游泳実習を課す

文部大臣：

「非常に満足せられ、且游泳の必要なることを感じたから、或は中学校等に游泳を正課にするかもしれない、そのとき教師が不足をしてはすまないから、皆熱心に練習せよ」 (校友会誌55, 1916)

# 嘉納治五郎 (1860-1938)



- 講道館柔道の創始者
- 日本人初のIOC委員
- 大日本体育協会初代会長
- 東京高等師範校長

游泳実習を課す

指導者派遣

指導者講習

## 学校水泳の父

東京高等師範の卒業生らが全国で学校水泳を展開・普及

# 水泳行政 学習指導要領

「遊戯」の内容の一部（昭和22年）

「その他の運動」の内容の一部（昭和33年）

「水泳」が独立して一領域となる（昭和43年）

低学年「基本の運動」 高学年「水泳」（昭和52年）

スタート指導の安全確保に留意（平成元年）

自然とのかかわりが深い活動として「水辺活動」を採用（平成10年）

低学年「水遊び」 中学年「浮く・泳ぐ運動」 高学年「水泳」

水中からのスタート（平成21年先行実施、23年完全実施）

# 水泳行政 施設整備・制度整備等

文部省体育局再設置 (昭和33年)

公立のスポーツ施設に対する補助 (昭和34年～)

「スポーツ振興法制定」 (昭和36年)

「スポーツ振興法施行令」 (昭和37年)

東京オリンピック開催 (昭和39年)

体育施設整備5カ年計画 (昭和39年～44年)

「体育の日」制定 (昭和41年)

「体育・スポーツの普及振興に関する基本方策について」  
保健体育審議会 (昭和47年)

# 水泳行政 指導者養成と啓蒙

学校教員対象水泳講習会 (文部省・日本水泳連盟共催：昭和26年～)

「国民皆泳の日」 (日水連：昭和28年制定)

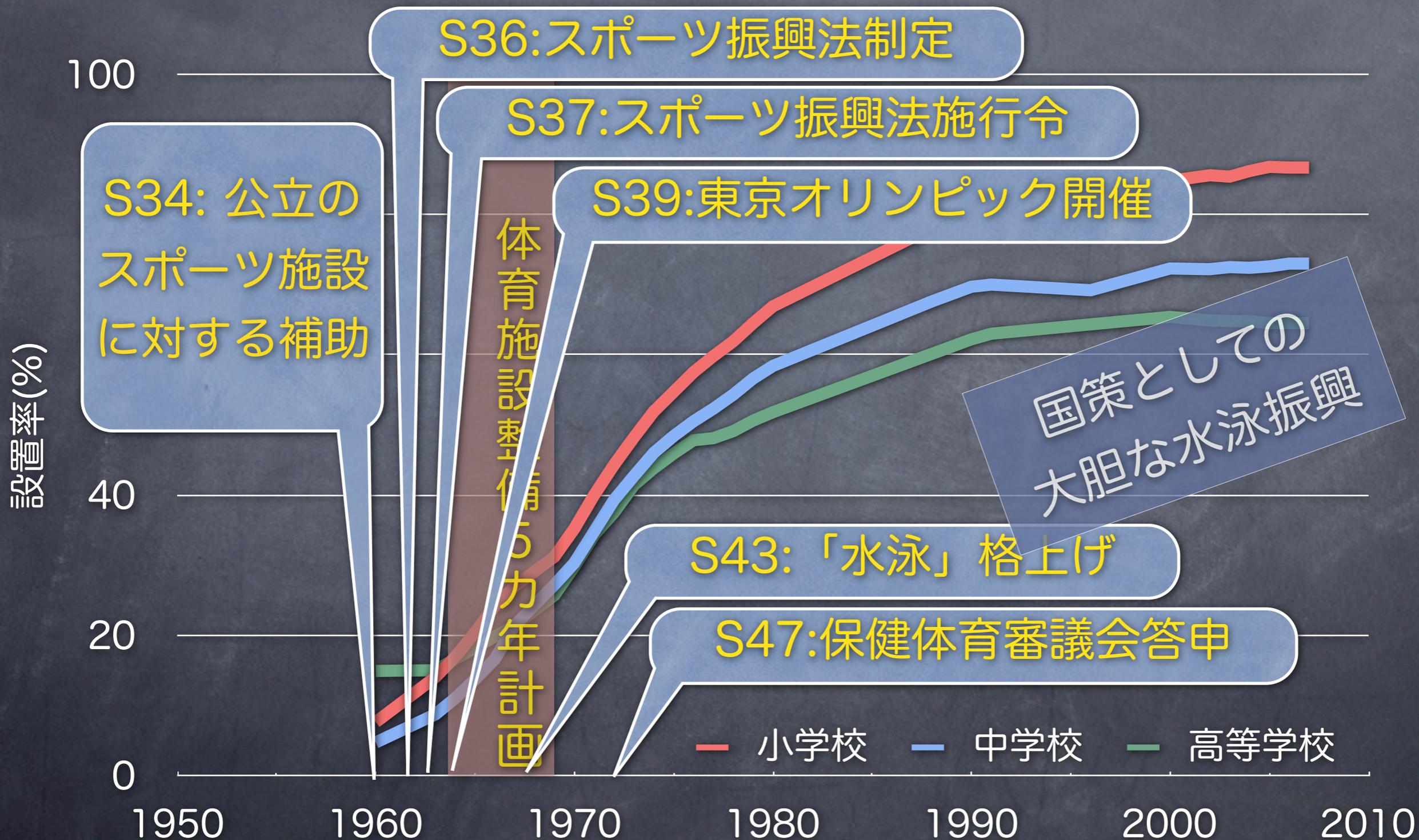
優秀小学校表彰制度 (日水連：平成17年度からは「優秀団体」に変更)

全国教員養成系大学学生研修水泳大会 (昭和41年～)

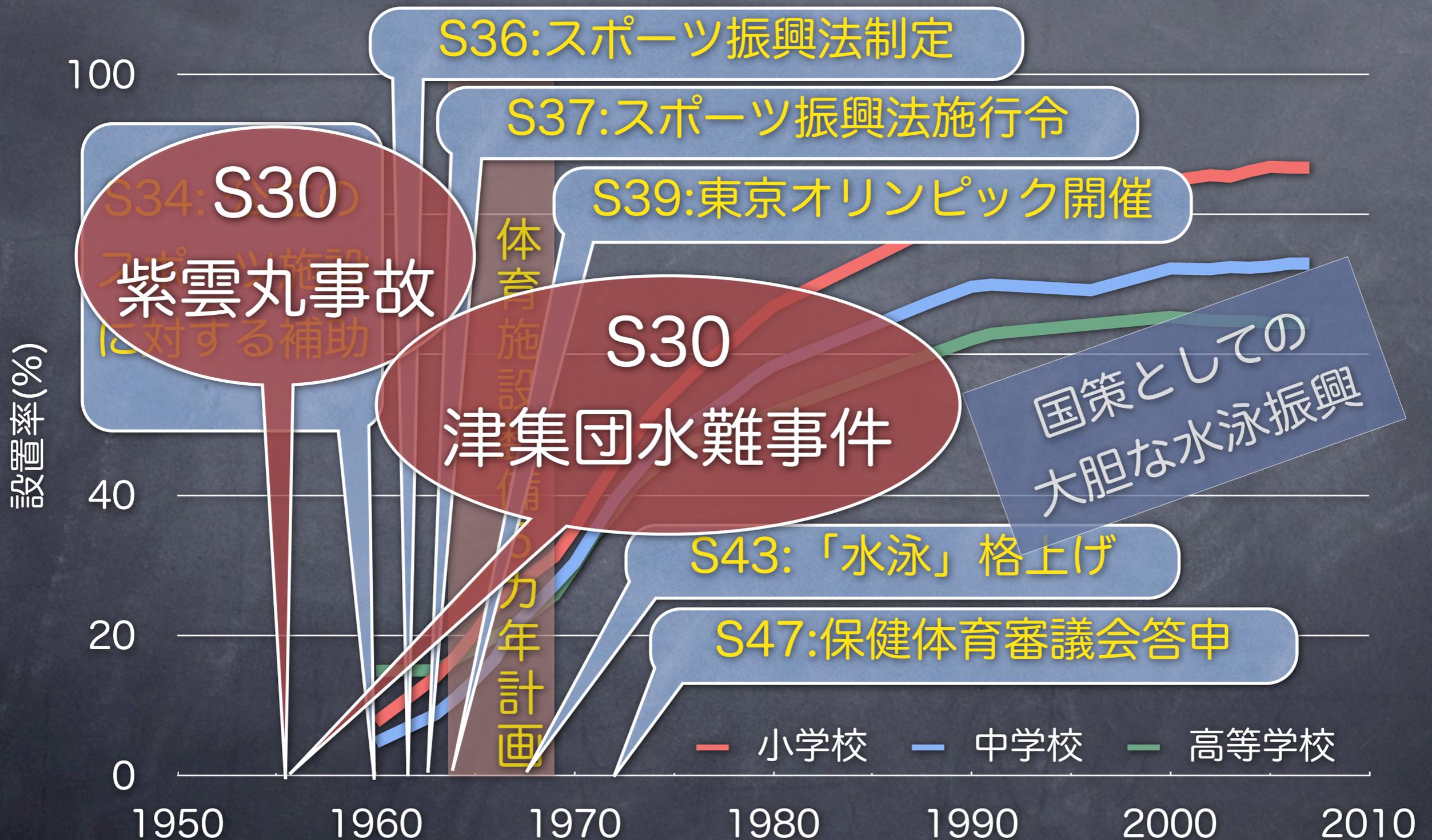
水泳指導モデル校づくり (文部省)

指導者派遣 (文部省：国内、国外)

# 学校プール設置率の変遷



# 学校プール設置率の変遷



# 紫雲丸事故（昭和30年5月11日）

- 宇高連絡船と貨物船の衝突事故
- 死者168名、うち児童生徒100名
- この事故では多数の児童が溺死する事態となったため、この事故を境に全国の小中学校へのプールの設置と体育の授業における水泳の普及が進められるようになった

# 紫雲丸事故（昭和30年5月11日）

参 - 文教委員会 - 4号 昭和30年05月14日

矢嶋三義

これからの教員というものは、男性であろうが女性であろうが、ある程度の泳げる力というものは、生命を預かって旅行に行かれるところの先生方として是非具備していなければならない一つの要素ではないか。

# 津海岸集団水難事件

## 橋北中学校水難事件（昭和30年7月28日）

- 津市中河原海岸で同市立橋北中学校の水泳訓練中発生した水難事件
- 女子生徒36人が溺死
- 異常流により押し流され深みにはまる
- ✓ 教員側の指導監督体制が問われる
- ✓ 「水泳の心得」等、教員の質・能力が問われる

# 津海岸集団水難事件

## 橋北中学校水難事件（昭和30年7月28日）

衆 - 文教委員会 - 31号 昭和30年07月29日

矢嶋三義

今後教育制度の上におきまして、以前のように体育の方の正課に水泳を取り入れていただき、そうすれば先生方の水泳の腕前も上りまして、これも一つの水難予防の方法になると考えておりますので、それらも御協力願いたいと思うのでございます。

# 津海岸集団水難事件

## 橋北中学校水難事件（昭和30年7月28日）

参 - 文教委員会 - 27号 昭和30年07月30日

高田なほ子

児童の生命をあずかるためには、教師自体が相当の水泳の指導の訓練を受けたのでなければならないということは、これは当然なことだと思えます。まして海国日本といわれるこの日本において、全国的にこうした夏季訓練が行われております折から、教育者に対する水泳指導の適格者であるかどうかという保証は、きわめて重要な問題でございます

# 津海岸集団水難事件

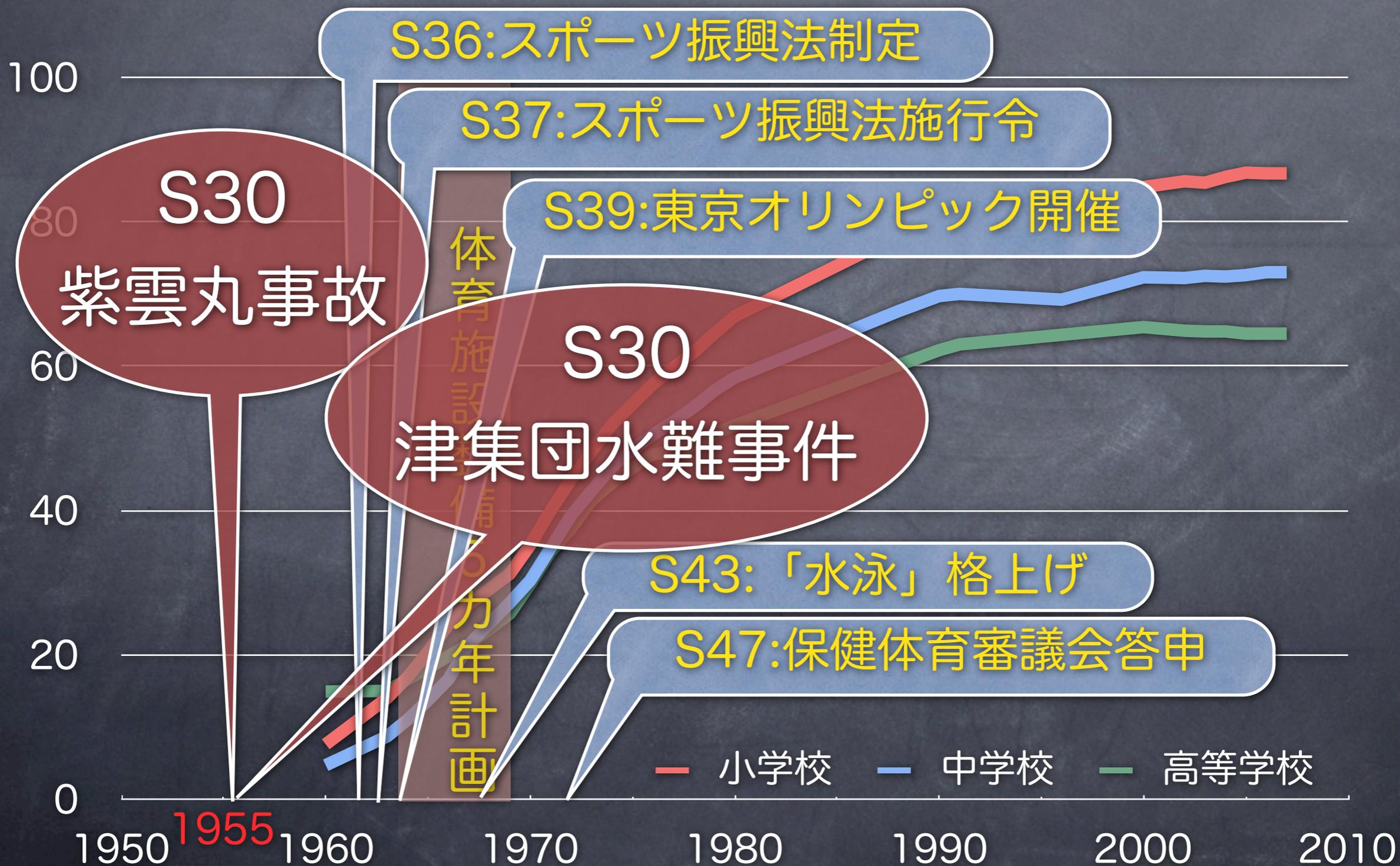
## 橋北中学校水難事件（昭和30年7月28日）

参 - 文教委員会 - 27号 昭和30年07月30日

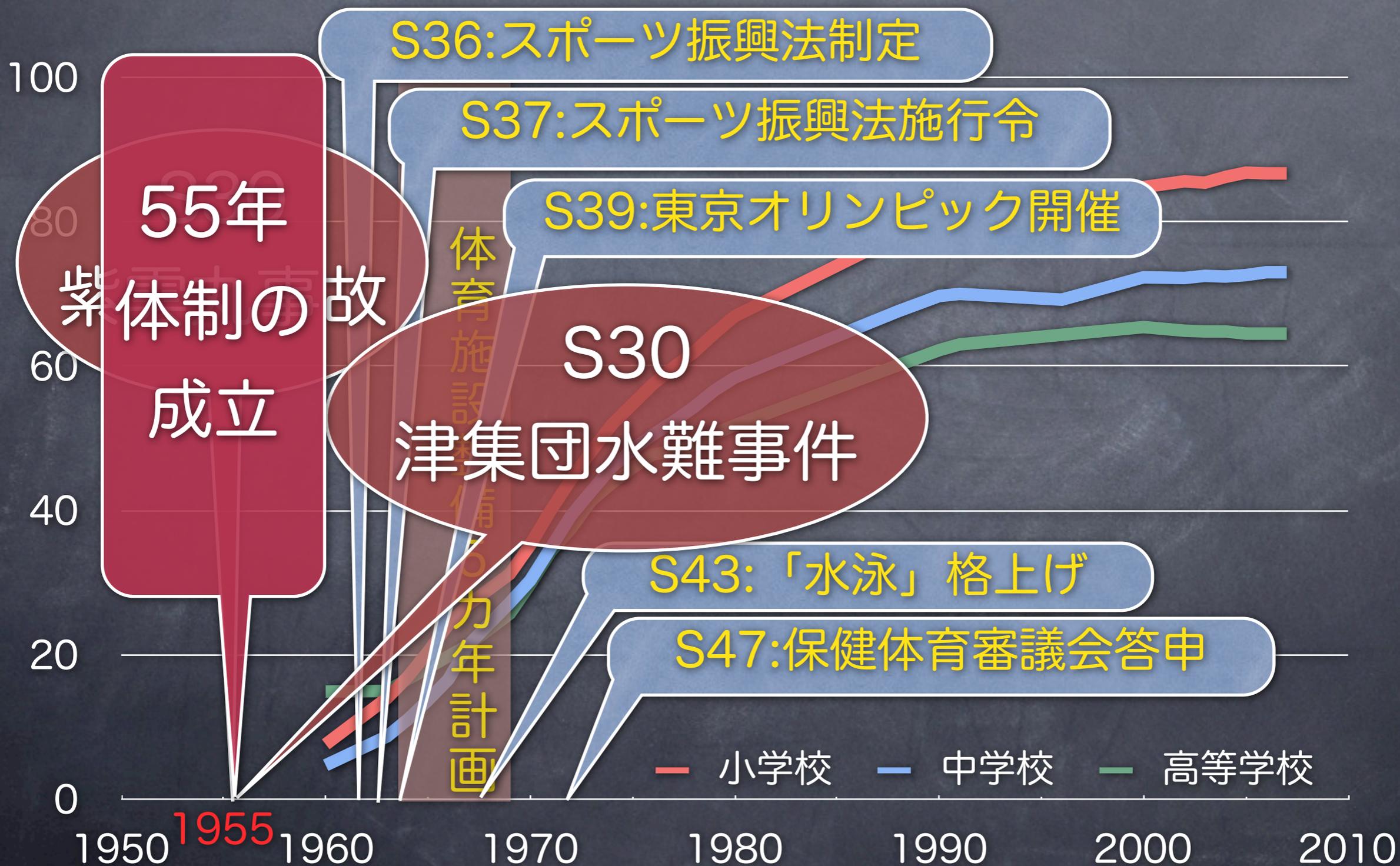
緒方信一

児童生徒の指導に当る教員が水泳の心得があるということとは、これはきわめて必要なことでもありますことは当然でございます。現在は教職課程、一般の教職課程全般に対しまして、専門のそういう訓練をする機関という方法にはなっておりません。これも御指摘の通りでございます。そういう養成機関におきまして十分水泳をできるようにすることにつきまして研究いたしたいと思っております。

# 学校プール設置率の変遷



# 学校プール設置率の変遷



# 学校プール設置率の変遷

- 55年体制成立後、政治・行政のダイナミズムにより大胆な水泳行政が行われた。



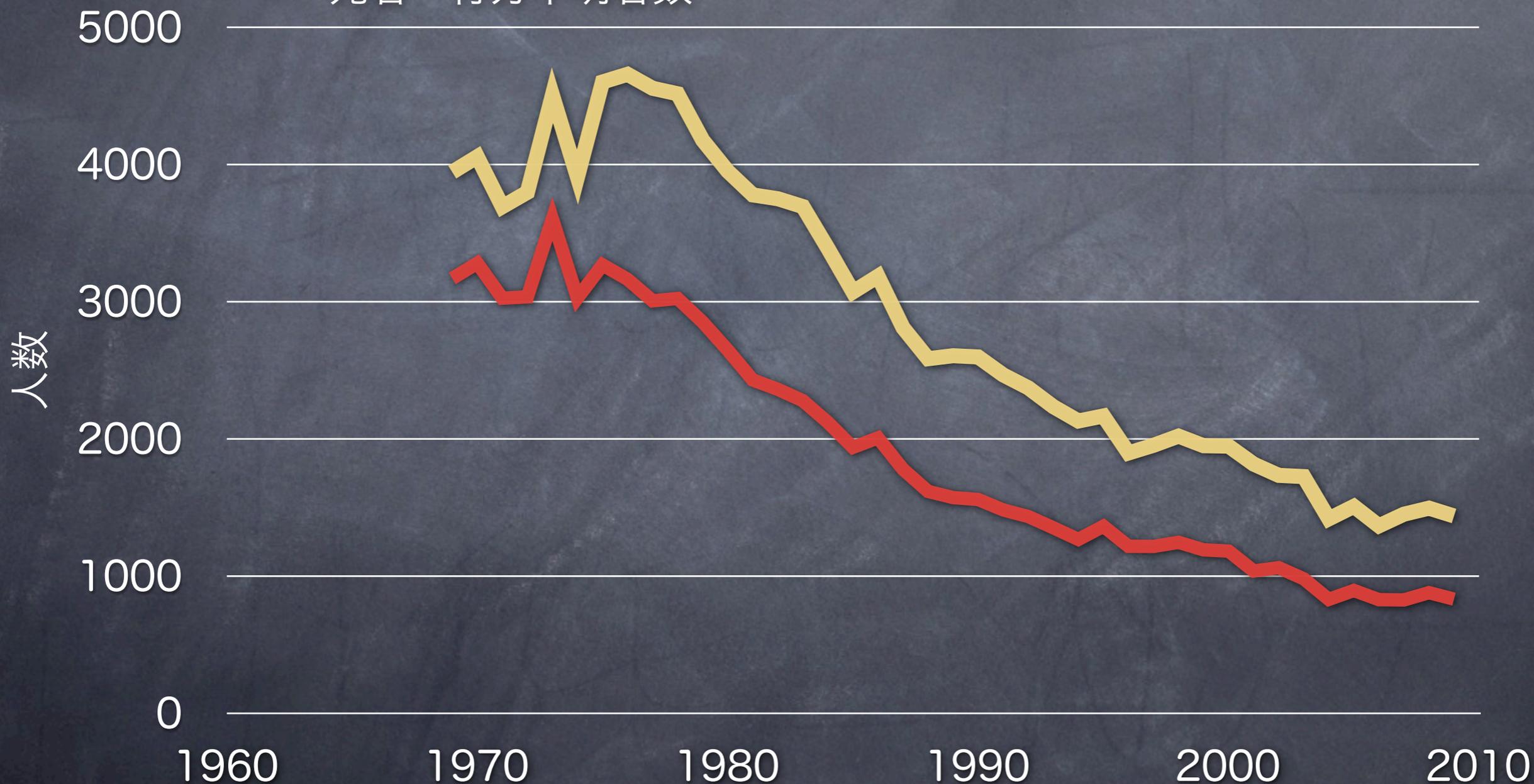
# 水難事故の推移

# 学校水泳・水泳教育

- 溺れないための教育・水環境での個の安全を保障する
  - こどもの発育発達のための適切な刺激を与え、健全な心身を育む
  - 運動自体を楽しむ
- ✓ 主に先進国で充実（水泳文化と財政的基盤）

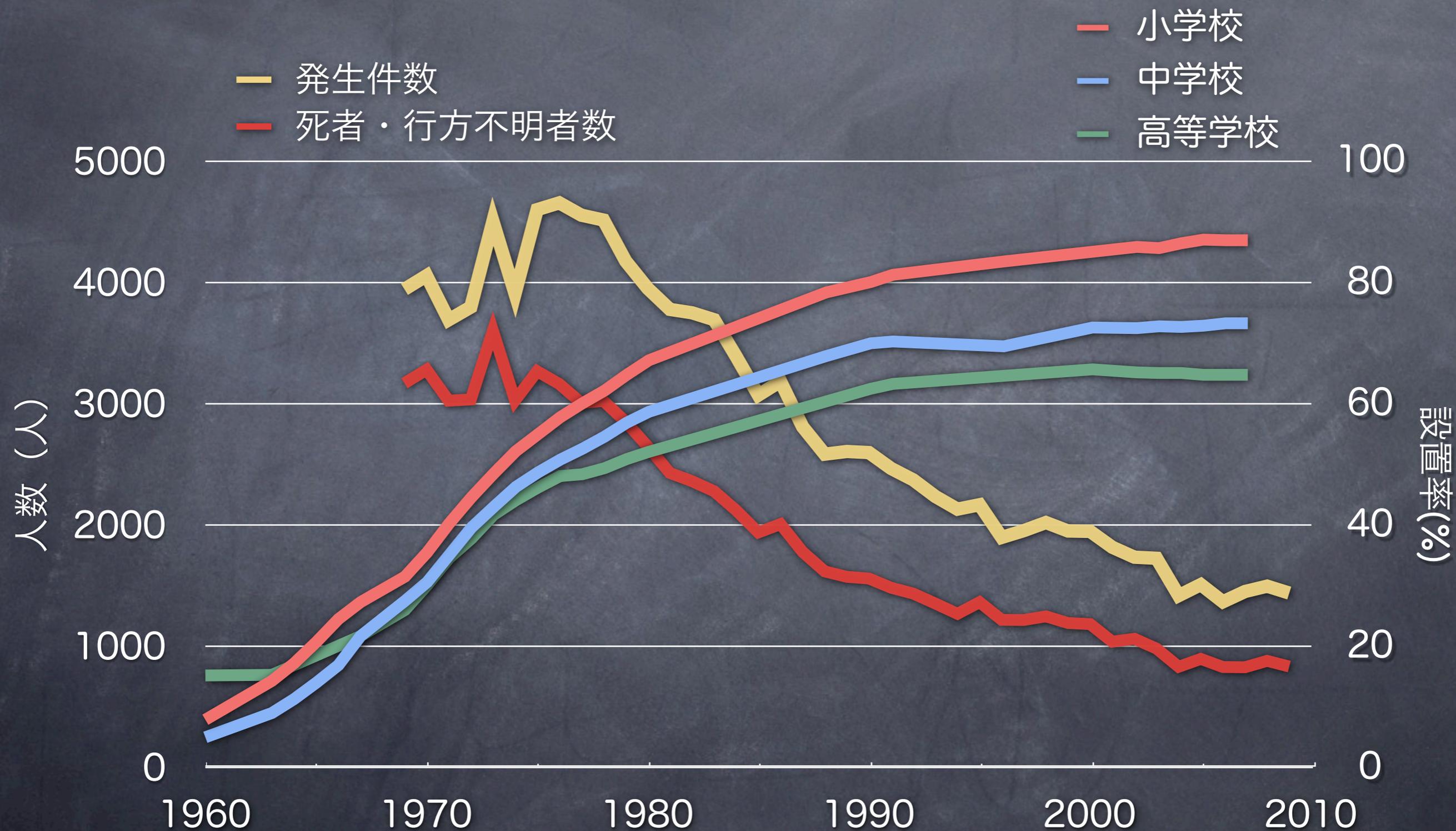
# 水難事故の推移

- 発生件数
- 死者・行方不明者数

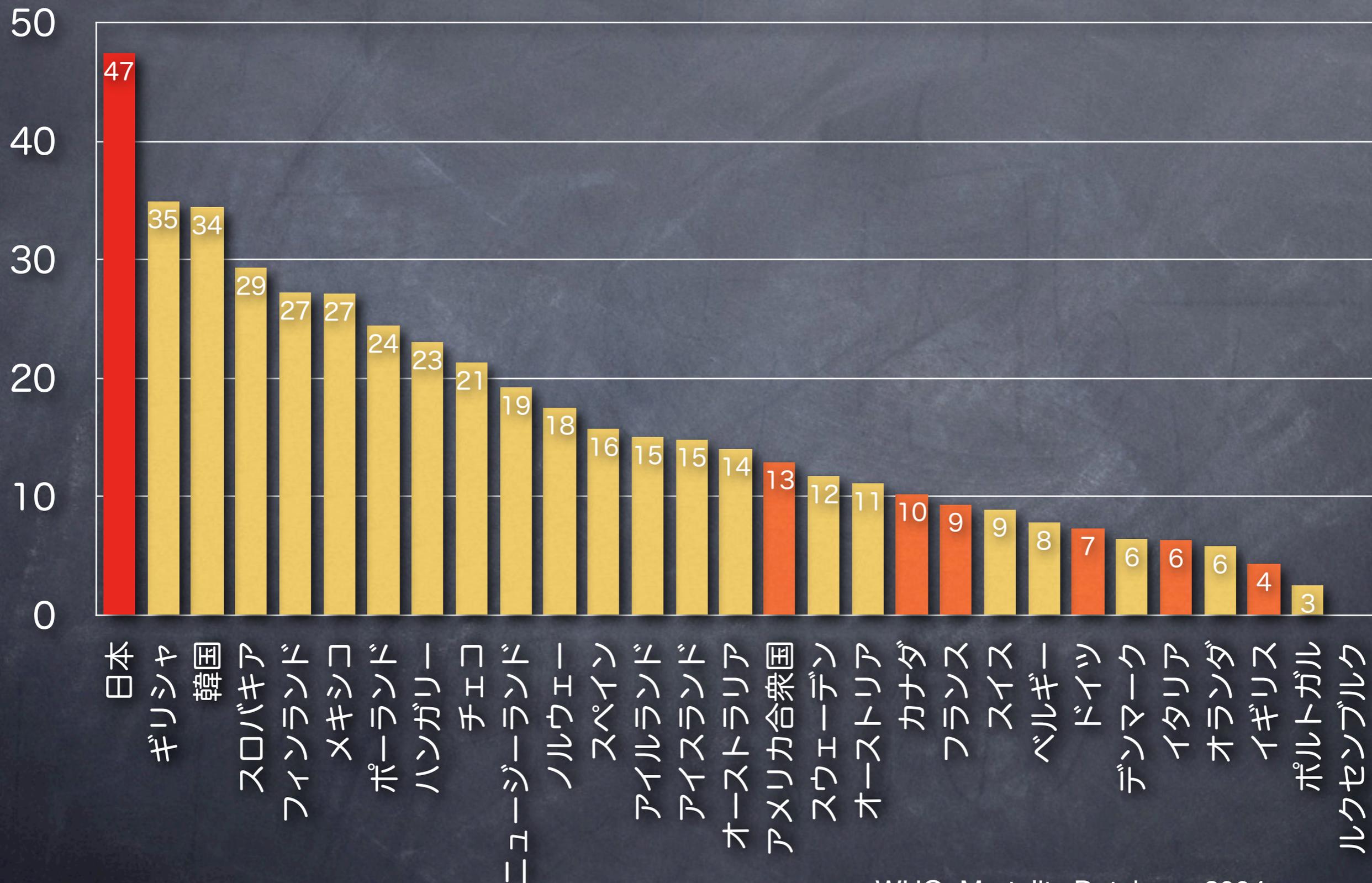


警察白書より松井作図2009

# 水難事故とプール普及率の関係



# OECD加盟国の溺死率 (100万人あたり)

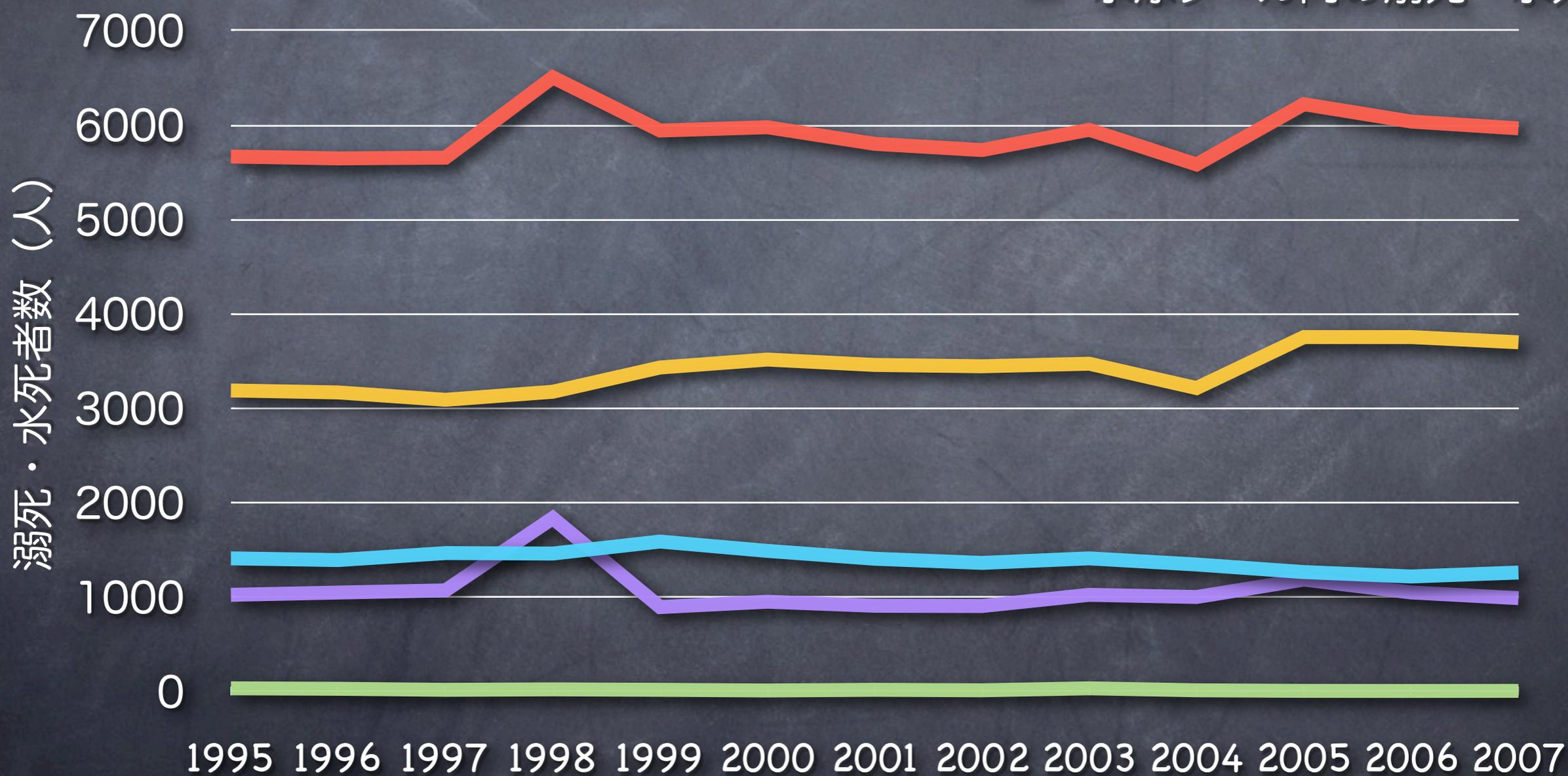


# 日本の溺死・水死者数の推移

## 溺死・水死の分類

WHO Mortality Data base documentation

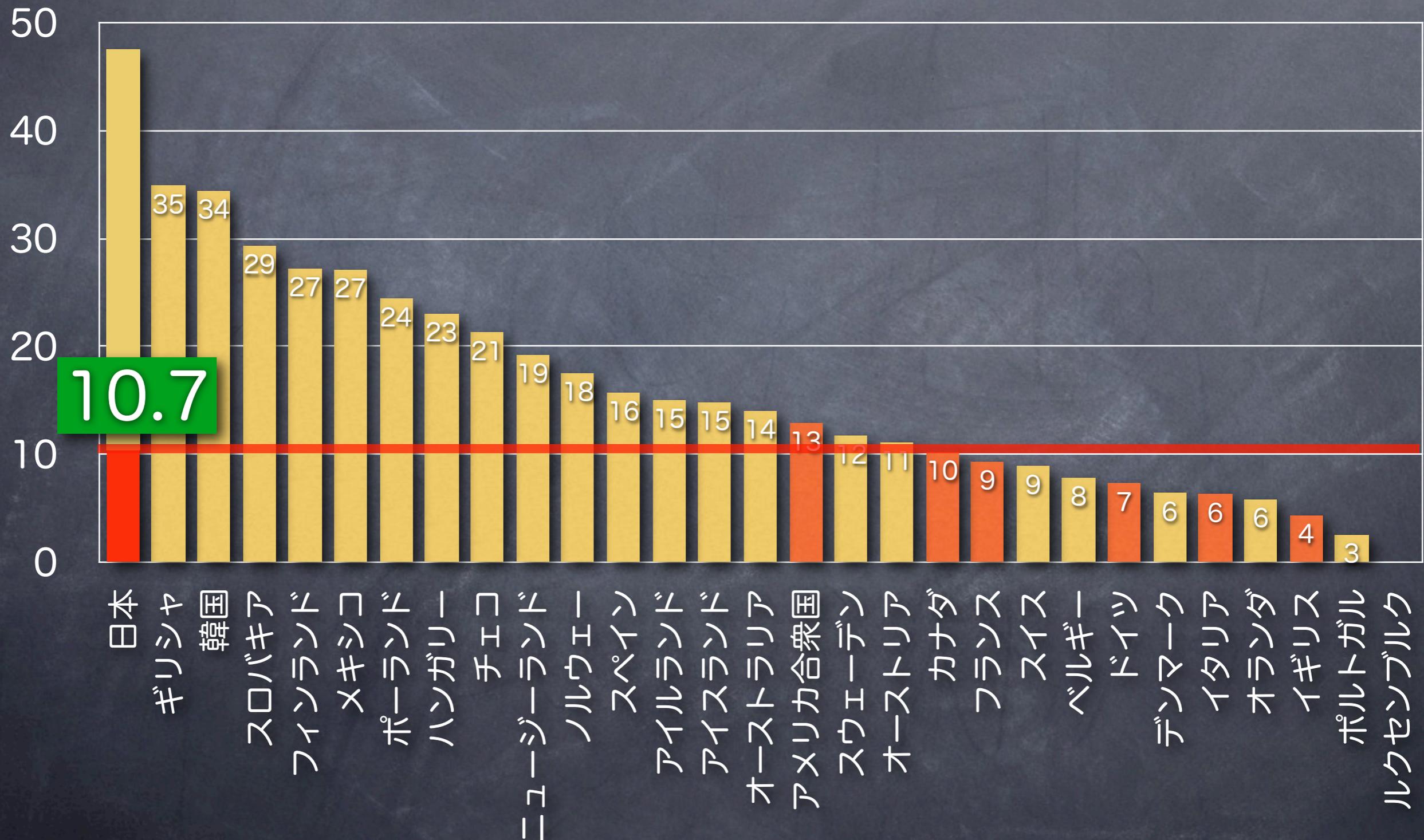
- 総数
- 浴槽での溺死・水死
- 自然水域内での溺死・水死
- その他の溺死・水死
- 水泳プール内の溺死・水死



# プールまたは自然水域内での溺死・水死者数



# OECD加盟国の溺死率 (100万人あたり)

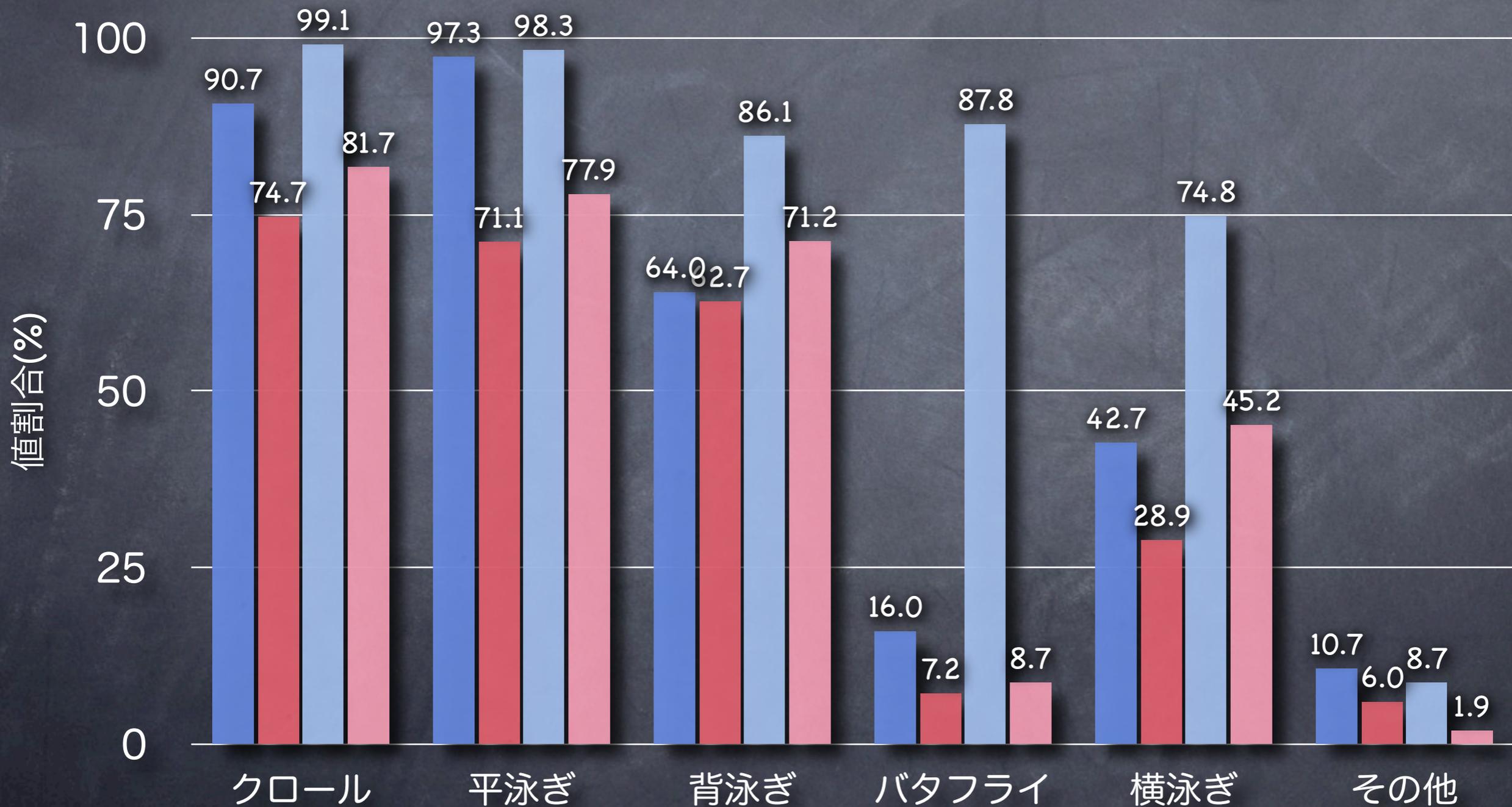


# 学校水泳の現状

# 小学校教員の各種目可泳率(25m)

2002 松井、南、沖田

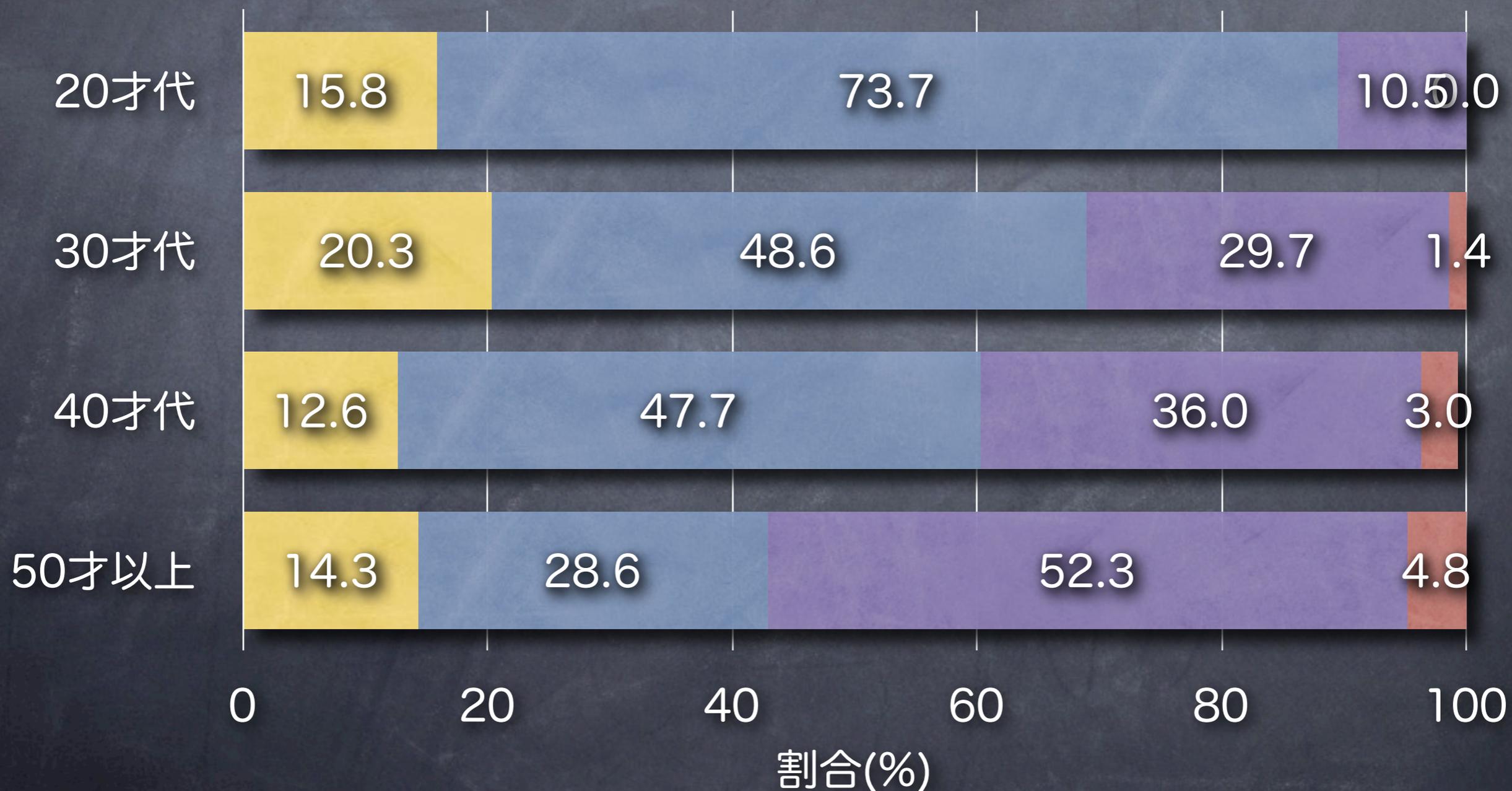
- 徳島県 (男性)
- 徳島県 (女性)
- 香川県 (男性)
- 香川県 (女性)



# 小学校教員の年代別水泳嗜好度

2002 松井、南、沖田

■ 大好き   
 ■ 好き   
 ■ あまり好きでない   
 ■ 嫌い

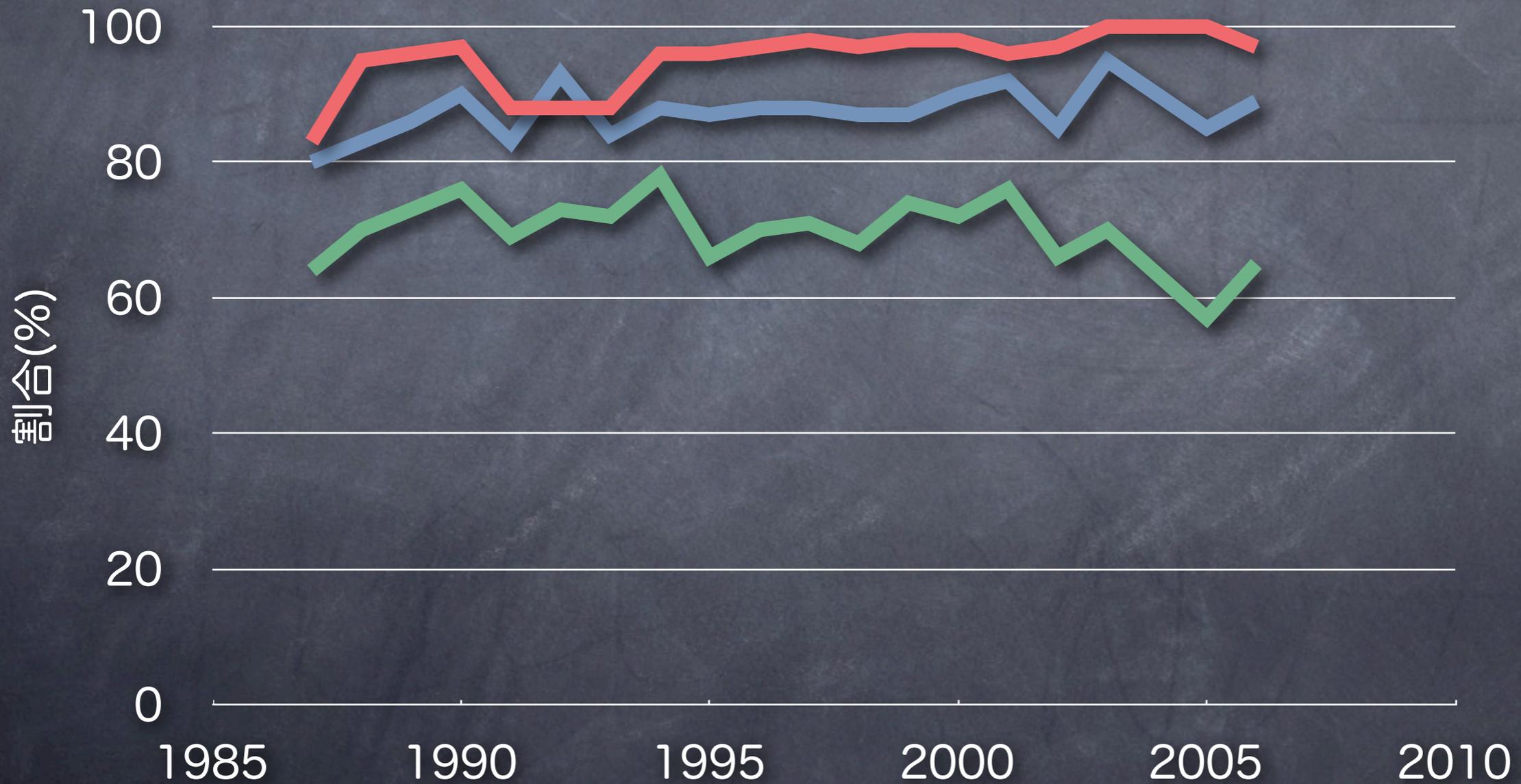


# 教員養成系大学生の水泳履歴

## プールの有無

2006 松井、南

- 小学校
- 中学校
- 高等学校

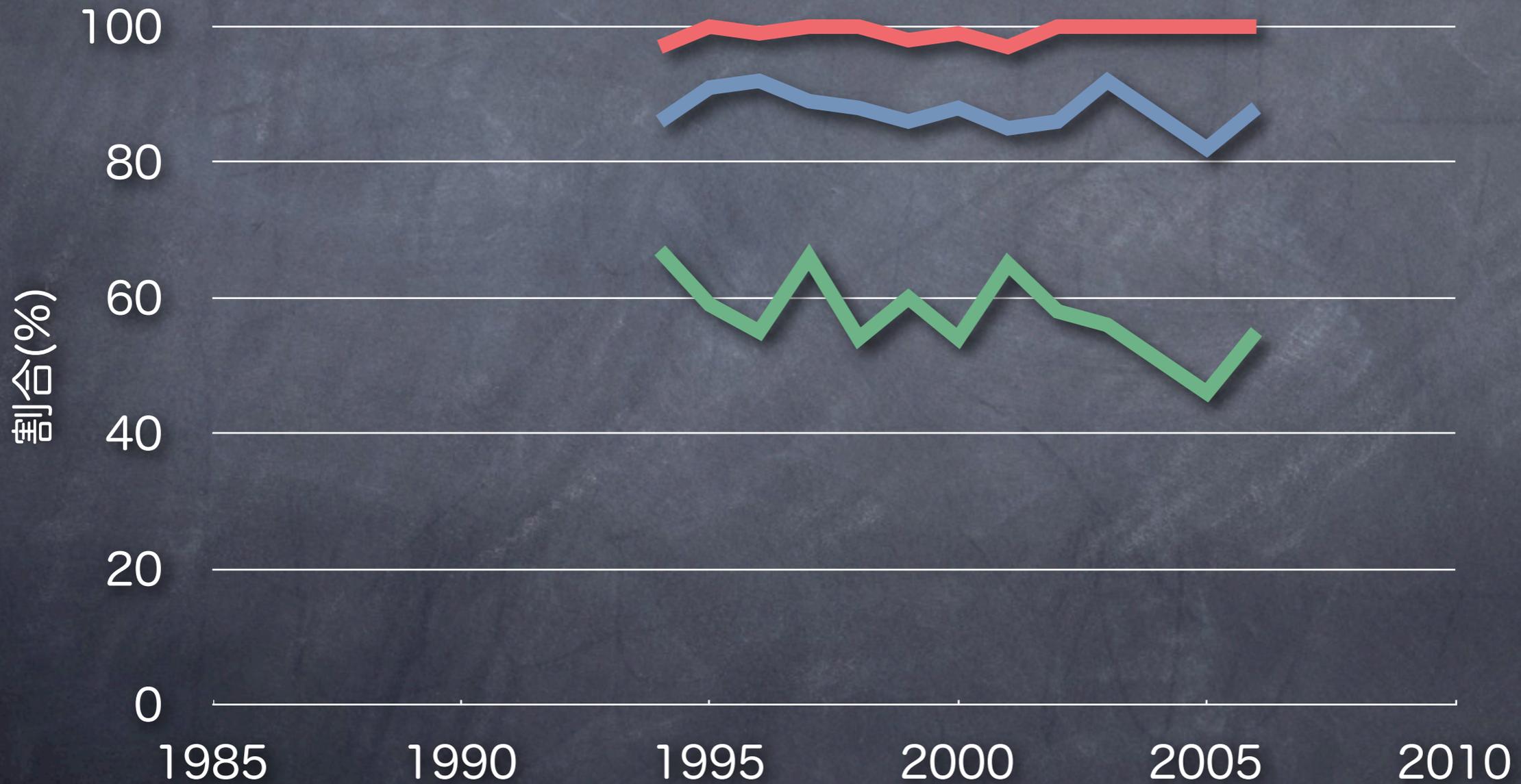


# 教員養成系大学生の水泳履歴

## 授業の有無

2006 松井、南

- 小学校
- 中学校
- 高等学校

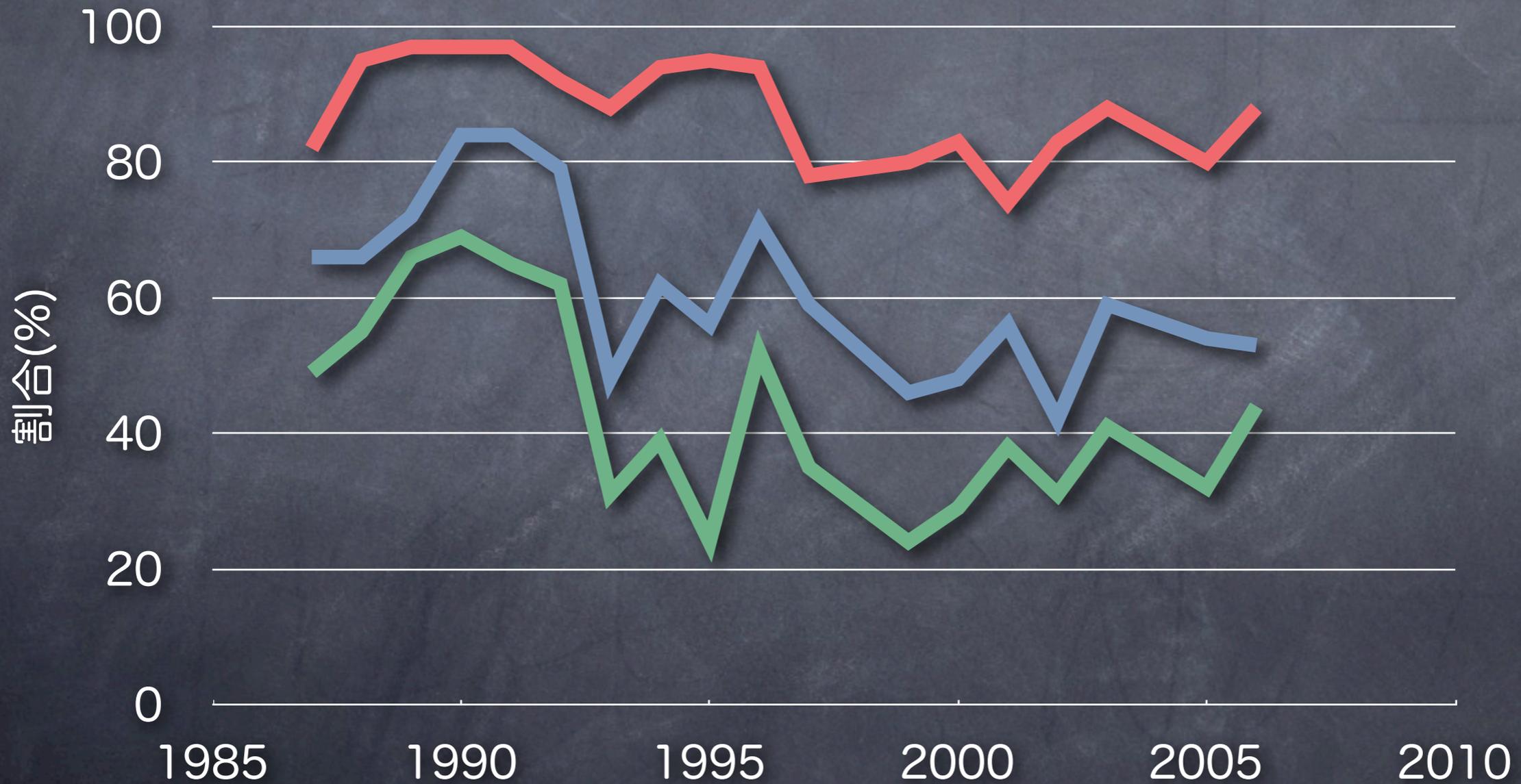


# 教員養成系大学生の水泳履歴

## 指導の有無

2006 松井、南

- 小学校
- 中学校
- 高等学校

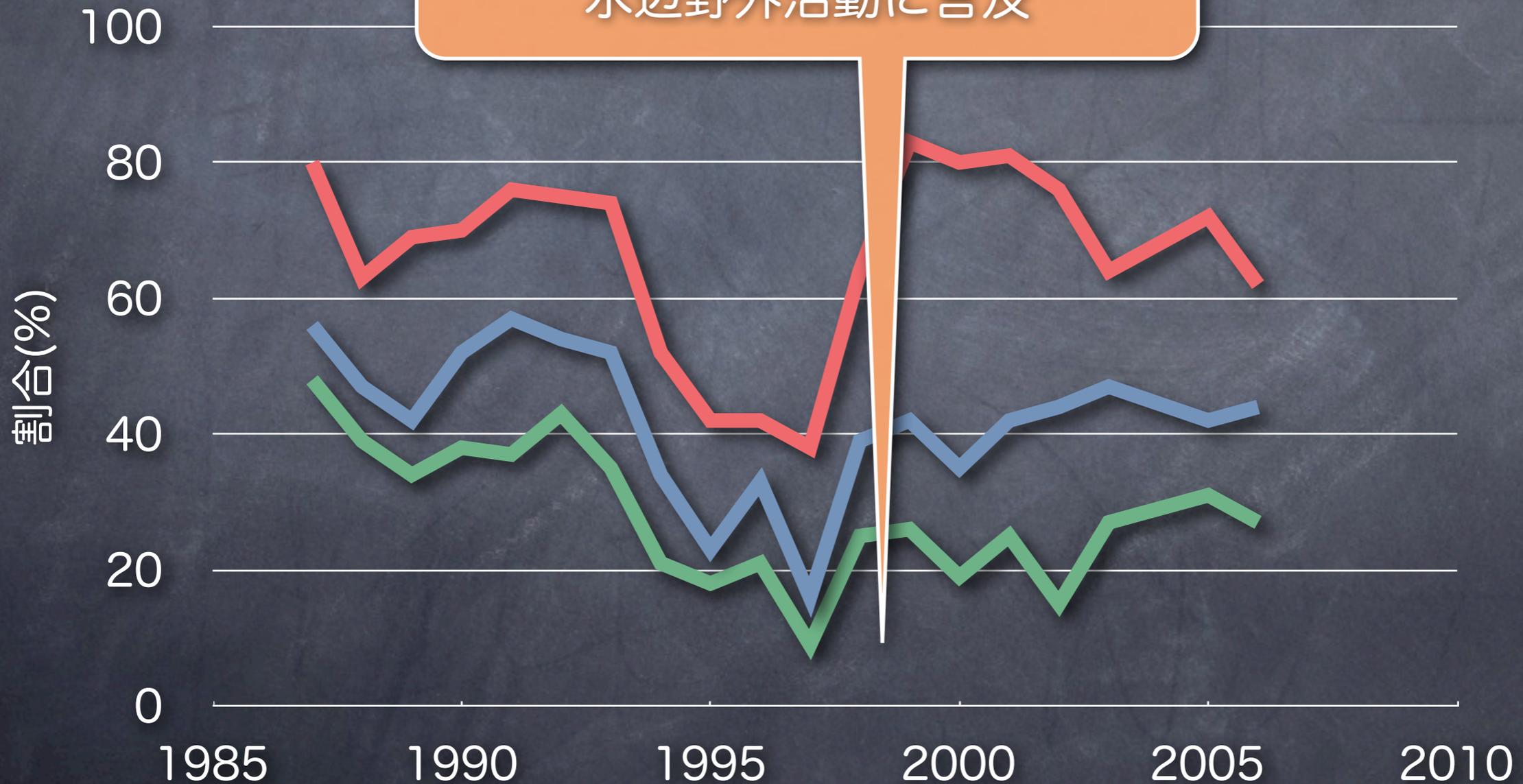


# 教員養成系大学生の水泳履歴

## プール以外での水泳経験

- 小学校
- 中学校
- 高等学校

H10指導要領改訂  
水辺野外活動に言及



# T県出身学生とそれ以外の学生との比較

- 高等学校におけるプールの有無。T県高校にはプールが無い。(p<0.001)
- 高等学校における水泳授業の有無。T県高校では水泳授業の実施率が低い。(p<0.001)
- 中学校における水泳指導の有無。T県中学では水泳の技術的な指導は低率である。(p<0.05)
- 高校における水泳指導の有無。T県高校では水泳の技術的な指導が低率である。(p<0.001)
- 競泳4泳法以外の泳法の獲得。T県出身者は競泳4泳法以外の泳ぎを知らない。(p<0.01)

# 教員養成における水泳

- 教育職員免許法（昭和24年）
- 教育職員免許法施行規則（昭和29年）

「水泳」は必修ではない

＞ 小学校教諭免許、中・高保健体育科免許  
各教員養成機関の裁量で取り扱っている

# 教員採用における水泳

平成20年より水泳実技試験を課さない自治体が出現

教員養成・採用の一連の制度として

教員の水泳に関する実技能力・指導力は保障されていない

あの志はどこへ行ってしまったのか？

# 学習指導要領にみる水泳

- 小1・2 「水遊び」：水につかったり水中を移動したりする、水に浮いたり沈んだり、目を開けたり息を吐いたりする
- 小3・4 「浮く・泳ぐ」：いろいろな泳ぎ方やけ伸び、補助具を使ってのキック、ストローク、呼吸をしながらの初歩的な泳ぎ
- 小5・6 「水泳」：クロール、背泳ぎ、平泳ぎ、バタフライ、複数の泳ぎで長く泳ぐ、平泳ぎでは続けて長く泳ぐ
- 中学校 「水泳」：クロール、背泳ぎ、バタフライ、複数の泳ぎ、リレー
- 第1学年及び第2学年において・...の生徒に履修させると。
- 高等学校 「水泳」：クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、複数の泳ぎ、リレー

各学年において選択

適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれらを取り扱わないことができるが、これらの心得については、必ず取り上げること。

小、中学校で学校の授業だけでは泳げない子が増えているという。以前のように臨海学校へ行く学校は少なくなり、「ゆとり教育」の中で授業時間数が限られ水泳の授業も減るなどさまざまな要因がありそう。泳げない先生の増加や無理に泳がせなといった指導の問題もあり、子供の運動能力に影を落とす。一方、幼児期から民間のスイミングスクールに通う子は増え、子供たちの水泳にも二極化傾向が強まっている。

東京都内の小学生の母親はプールの授業を見学して首をひねった。「水をかけっこして遊んでいるだけ。泳ぎ方をせんせん教えていない。私が小学生のころは目標を決めて無理やり泳がされた」。なかなか泳げるようにならない子供を民間のスイミングスクールに通わせようか悩むという。

スイミングスクールの指導者は「学校では確かに泳げない子が増えている。以前より水泳の授業が少なく、水泳をうまく教えられない先生が減っていると聞くと、プールの事故などを懸念し、水泳指導を嫌がる傾向もあるようだ」という。都内の小学校で平泳ぎができない子の割合などを調べたところうまく泳げない子が増えたという。また、ある中学校では1年生で3分の1近く、女子では半数が泳げなかった。文部科学省によると、確かに平均すると水泳の授業は減ったという。

「ゆとり教育」と批判された平成10年改定の学習指導要領で、小学校の体育の授業は例えば4年生で年間105時間だったのが90時

# 「カナヅチ」増加 水泳授業二極化

間になった。水泳の授業も減り、夏休み中の水泳教室を除き、1学期終わりごろと2学期初めに行われる水泳は平均で12時間あったのが、10時間程度になったという。学力だけでなく、子供の運動能力低下も懸念されており、新しい学習指導要領では体育の授業時間にもとに戻る。

一方、教師の指導にも課題があるようだ。小学校低学年ではまず水に対する恐怖心を取り除き、水に親しむため、水の掛け合いや水中鬼ごっこなど「遊び」から始め、4年生から息継ぎなどコンビネーションを含めた水泳の指導が本格化する。

だが近年は「遊び」が重視されすぎ、無理に泳法を教えず、「泳げなければ泳がないでいい」など間違っただとらえ方をされているケ

## スクールに通わせるか否か

■小学校の水泳の級の例

級	泳力レベル
12	水に顔つけ5秒以上
11	基石拾い
10	伏し浮き5秒以上
9	5m泳げる
8	10m泳げる
7	15m泳げる
6	25m泳げる
5	クロールか平泳ぎで25m
4	クロールと平泳ぎで25m
3	50m泳げる、25mクロール30秒以内など
2	50mクロール55秒以内など
1	10分間続けて泳ぐ
特1	100mメドレー1分45秒以内

もある。教員採用では小学校教員に水泳の実技試験を行う教委が多いが、団塊の世代の大量退職による採用数増で受験者数が増え、実技試験を行う時間がとれず、自己申告だけで済まず教委もあるという。学校の水泳の授業は学年単位でやることが多いが、学級数の減少で指導できる



民間ホテルのプール開きに招待され泳ぐ子供たち。一方で泳げない子も増えているという。東京都港区

# 教員採用試験に水泳実技必要？

# Say! Yes! No!

水泳のシーズン。夏休みに集中指導をする学校がある一方で、近年は、小学校の教員採用試験から水泳実技を外す動きも広がっている。教員の門戸を開くという理由や、一昨年に埼玉県で採用試験の水泳実技中に女性が亡くなった例も背景にあるが、泳げない先生で水泳指導できるの？という疑問も残る。小学校の教員採用試験に水泳実技は必要だと思いますか？

(宮坂麻子)

## YES

■先生が助けられなくては  
いまの学校は「泳ぎを教えている」とは言えない。泳げない子は、先生から「スイミングスクールに行つて習うように」と言われる。その意味では技術は必要ないかも。ただ、子どもがおぼれた時、先生が飛び込んで助けられなくては問題。そこを判断できる実技試験をしてほしい。(神奈川県、40代女性)

リバリ教えてほしい。

(埼玉県、40代女性)

■事故防止優先で 自己申告では信用できない。事故防止を優先すべきだ。本気で教員になりたければ、泳げるようになってから試験に臨む必要がある。(群馬県、40代女性)

■着衣水泳やAEDのテスト  
水泳の授業を、外部のインストラクターに全面委託するなら、確かに、教師に水泳技術や速泳を求める必要はないといえる。むしろ、着衣水泳やAEDを正しく使えるかどうかの実技テストが必要だろう。(愛知県、40代女性)

■個別指導が重要  
水泳指導は、個別指導が重要。体育の担当教師だけでは、事故防止の観点からも、問題がある。体育教師が教えるとしても、そのほか

の教師も水泳指導できる必要があると思う。(三重県、70代男性)

## NO

■もっと大切な条件ある  
水泳の実技試験は、ないよりあった方がよいという程度のもの。教師としての熱意、適格性など、本来もっと大切な条件があるはず。採用試験ではそのことにもっと対応してほしい。泳げない人は、採用後、研修や訓練をさせれば、それで足りる。(東京都、70代男性)

■試験するほどの授業ない  
昨今、水泳の授業時間も少なくなり、「泳ぎを教える」授業から、「水を怖がらない」授業に変わりつつある。水泳を本気で習いたい子は、外部の水泳教室にすでに通っている。採用試験



(回答総数4227)  
The Asahi Shimbun



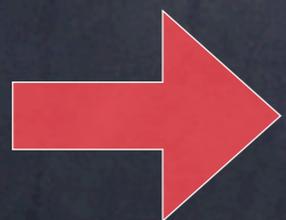
＝東京都内

※読者のみなさまのご意見は「アスパラクラブ」のホームページ(<http://aspara.sahi.com/as/sayyesno>)とメールでいただきました

▼次回は「通知表の絶対

# 公立小学校教員採用試験における 水泳実技の取り扱い（平成22年度採用）

- 2007年までの採用試験では47都道府県で水泳の実技試験を実施
- 2008年より東京都・愛知県が水泳実技を廃止
- 本年（2009年）においては水泳実技を実施している60行政体のうち51
  - ＞ 水泳実技の無い採用母体：東京都、千葉県、埼玉県、愛知県、福井県、岡山県・岡山市、川崎市、浜松市、京都市



他の行政体にも波及する可能性

# 各自治体コメント

- × 「水泳の授業は複数の教員で行っており、指導や安全は確保できる」「採用までの間や初任者研修で特訓する」 (愛知県)
- × 「ほとんどの受験者がクリアしている」 (東京都)
- 「指導者として自ら泳ぐ力は必要」 (三重県)
- 「もしものときに、すべての教員が救助に対応できる必要がある」 (岐阜県)
- 「水泳は児童の安全管理上必要。一定の水準を確保するために続けていきたい」 (横浜市)

# 問題点？

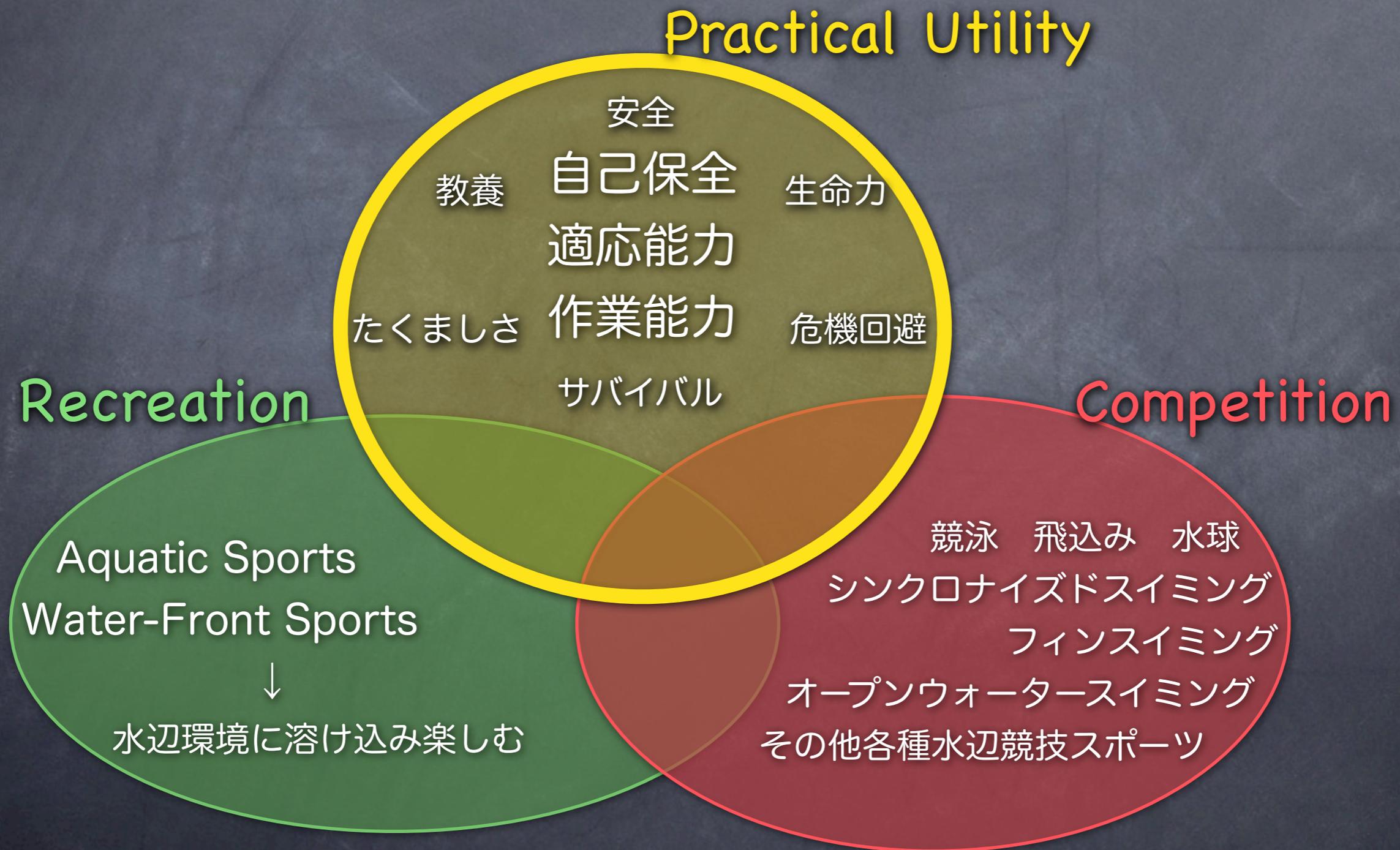
- ・ 小学校入学から高校卒業までの12年間の水泳教育としての成果は？
- ・ 水泳に関する環境整備（ソフト／ハード）は？
- ・ 学校の水泳教育力の低下？
- ・ 泳力チェックの機会が希少？
- ・ 民間スイミングクラブ等との関係？
- ・ 地域の持つ水泳に対するディマンドは？
- ・ 保護者の持つ価値観の変化？
- ・ 水泳行政の停滞？（経済的要因・水泳プロパーの減少）

本来大切にすべき基礎教育としての目的やその価値が忘れ去られようとしている（教育先進国とは言えない！）

# 55年体制成立後の学校水泳

- ✓ 水難事故防止・安全確保の目的で水泳教育を推進するため、数多くのプールが設置されてきた。
- ✓ 指導者講習会等を実施し、指導者の資質向上に努めてきた。
- 学校では様々な要因から泳ぎの技術的な指導を実施することが困難になってきた。
- 国際的にみて、プールの設置率の高さと溺死者の多さが相反する現状。

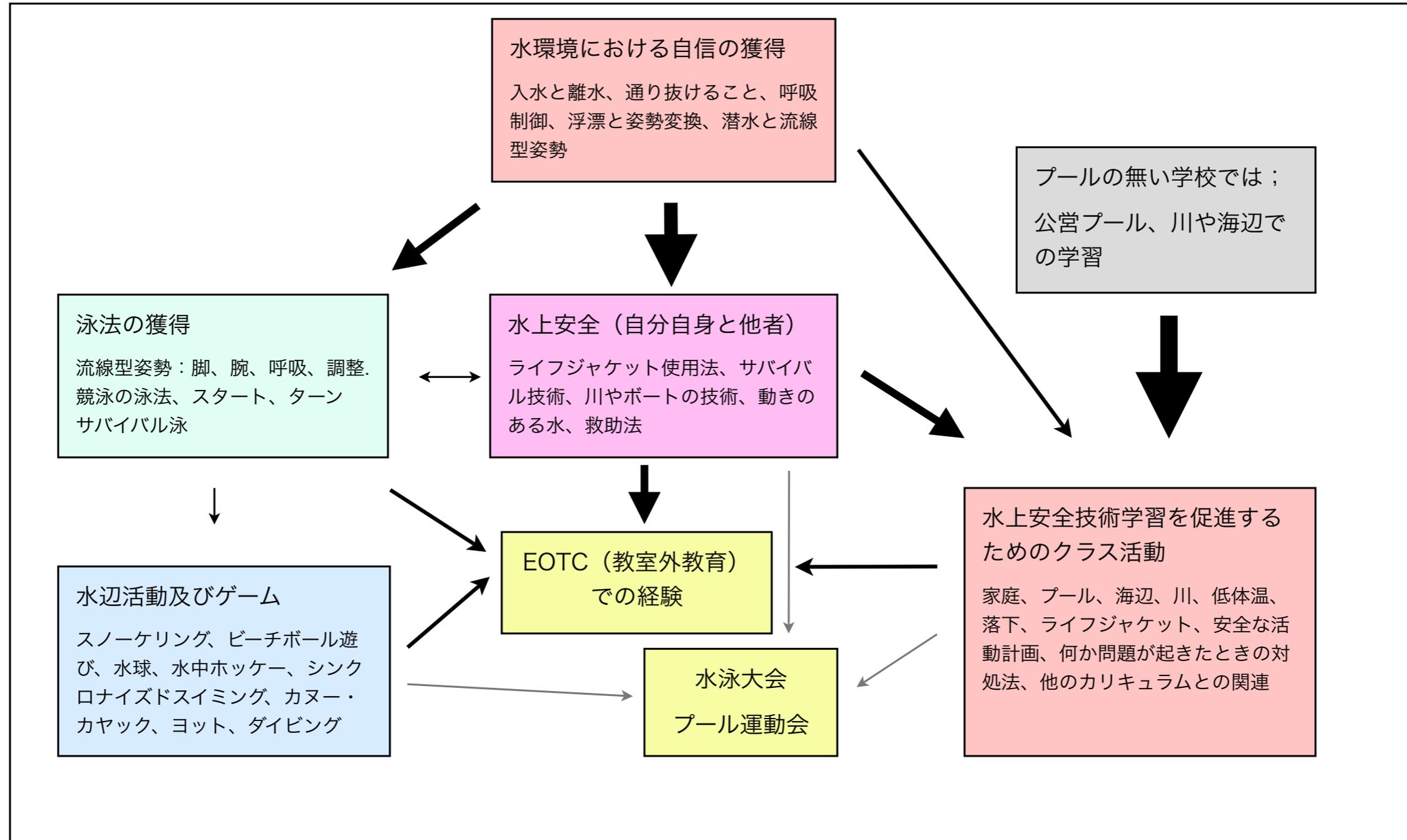
# 学校水泳がカバーすべき社会的役割



# ニュージーランドの水泳学習

学校で取り扱う水泳の内容： 水辺における技能・知識の開発

(Teacher Guide Planning a Unit of Work, Watersafe Auckland 2008, New Zealand)



ケビン・モラン氏提供、松井訳2009





# 安全教育や人間形成の場としての側面

- 単なる運動学習だけでなく、自己保全、他者への思いやり、集団の仲間意識や安全意識の啓発、道徳心やモラルを含んだ総合学習的な学習の場として活かす。
- 規律やルールを守る、自らの安全（自立）、集団の中での役割意識（公共心）を育成

泳ぎそのものだけが学習内容ではない

# 学校水泳の課題

- スポーツの一種目としての内容？
  - ＞ できなくともいい？
- 安全教育・水上安全を含めた総合的な内容として再構築しては？
  - ＞ 自立した人間として必要な能力を開発

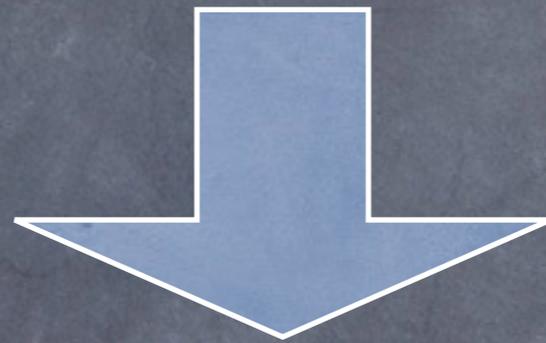
自信を持って安全に水泳を実施でき、  
その楽しみを仲間と分かち合えるような人を育てる

# そのための環境整備

- プールの設計・構造、維持管理体制
  - 浮く・潜る、ボールゲーム、飛び込み
  - 温度管理・日光・衛生管理・リスク対応
- 指導カリキュラムの策定
  - 水泳の目標、それを達成するための内容
  - 競泳能力だけでなく、安全能力や対応力・余力も含めた学習内容
- 指導体制の整備
  - 教員採用・指導者養成
  - 地域・他機関との連携

もっと、ドラスティックな  
根本的な改革が求められている

日本の水泳界を支える  
学校教育の立場から



水泳教育により  
日本の水泳文化を支える

# まとめ

- 日本の学校は、教育的意図のもとに水泳を推進してきた。
- 55年体制成立後、政治・行政のダイナミズムにより大胆な水泳行政が行われた。
- 学校に屋外プールは普及したが、水辺における安全能力は先進国中最低レベル。
- 水泳の意義や価値を再確認し、人間社会に安全や豊かさをもたらす文化として育てていくことが必要。

連絡先 matsui@naruto-u.ac.jp

松井研究室WebPage

<http://spbio.naruto-u.ac.jp/>

学校水泳研究会WebPage

<http://www.naruto-u.ac.jp/~matsui/sss/ssstop.html>

教育の一番札所





# 新しい指導要領における水泳の学習内容

## 小学校

学年	運動技能	運動内容	取り扱い等
小1、2	水に慣れる遊び	水につかったり移動したりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び方を工夫できるようにする</li> </ul>
	浮く・もぐる遊び	水に浮いたりもぐったり、水中で息を吐いたりする	
小3、4	浮く運動	いろいろな浮き方やけ伸びをする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動きを身につけるための活動を工夫できるようにする</li> </ul>
	泳ぐ運動	補助具を使っのキックやストローク、呼吸をしながらの初歩的な泳ぎ	
小5、6	クロール	続けて長く泳ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水中からのスタート</li> <li>・背泳ぎを加えてもよい</li> </ul>
	平泳ぎ	続けて長く泳ぐ	

# 新しい指導要領における水泳の学習内容

## 中学校

学年	運動技能	運動内容	取り扱い等
中1、2	ア、クロール	手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1, 2年において全ての生徒に履修させる</li> <li>・ アまたはイのいずれかを含む2種目を選択して履修</li> <li>・ 水中からのスタート及びターン</li> </ul>
	イ、平泳ぎ	手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐ	
	ウ、背泳ぎ	手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐ	
	エ、バタフライ	手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐ	
中3	ア、クロール	手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだり速く泳いだりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「陸上競技」、「水泳」「ダンス」の中から選択</li> <li>・ 水中からのスタート及びターン</li> </ul>
	イ、平泳ぎ	手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだり速く泳いだりする	
	ウ、背泳ぎ	手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ	
	エ、バタフライ	手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐ	
	オ、複数の泳法で泳ぐ、又はリレー		

# 新しい指導要領における水泳の学習内容

## 高等学校

学年	運動技能	運動内容	取り扱い等
高校	ア、クロール	手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだり速く泳いだりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入学年次においては「B器械運動」、「C陸上運動」、「D水泳」、「Gダンス」の中から選択、次年度以降はB～Gの中から2つ以上を選択</li> <li>・ 泳法等はア～オの中から選択して履修</li> <li>・ スタートの指導については、段階的な指導を行うとともに安全を十分に確保する</li> </ul>
	イ、平泳ぎ	手と足、呼吸のバランスを保ち、伸びのある動作と安定したペースで長く泳いだり速く泳いだり速く泳いだりする	
	ウ、背泳ぎ	手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする	
	エ、バタフライ	手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりする	
	オ、複数の泳法で長く泳ぐ、又はリレー		

# こどもの生涯に向けたリスクマネジメント

## 適切な水泳教育を確実に実施する

- ✓ 中学校では2年生以降の水泳授業が不十分
- ✓ 高校では水泳授業はほぼ壊滅の地域も
- ✓ 生徒の泳力不足、知識・認識も不足
- ✓ 保護者として子どもを保護観察できるか
- ✓ 大人・指導者・教員として子どもを教育できるか
- ✓ 職業上の適性にも影響を与える

# 教師自身の問題

- ✓ 知的理解の獲得
- ✓ 実技能力の獲得
- ✓ 指導能力の獲得
- ✓ 指導や教材研究に関するモチベーション
- ✓ 恥ずかしさの克服
  - 身体的・性的・運動能力的

教師自身がどのような価値観を持ち、  
子供にどのような変容を期待しているのか